

山形県スポーツ指導者協議会 公認スポーツ指導者アンケート調査

問1 あなたの公認スポーツ指導者資格についてお答えください。

- (1) 所属スポーツ団体名 ()
- (2) 公認資格取得年月 【昭和・平成・令和 ()年 ()月 ()年目】
- (3) 性別と年齢 (当てはまるところに○印)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
男性	2	3	18	21	18
女性	0	7	5	4	3

- (4) 職業等 (当てはまるところに○印)

会社員	21	専業主婦・主夫	1
公務員 (教職員除く)	3	パート・アルバイト	3
教職員	34	無職	5
自営業	11	その他	3

- (5) 指導員登録 (日本スポーツ協会公認スポーツ指導者) (当てはまるところに○印)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
スタートコーチ (ジュニアユース)	1	0	5	2	1
スタートコーチ (教員免許所持者)	1	1	1	0	0
スタートコーチ (競技別指導者)	0	1	1	2	2
コーチ1	1	3	7	10	8
コーチ2	0	0	2	1	1
コーチ3	1	6	13	3	9
コーチ4	0	1	2	2	0
教師	0	1	0	1	1
上級教師					

注：【旧】スタートコーチ (スポーツ少年団) ➡ 【新】スタートコーチ (ジュニアユース)

《2024年4月より変更》

問2 あなたは、県内スポーツ指導者の人材発掘のための指導者人材バンク「リーダーバンクやまがた」を知っていますか。？（○は1つ）

1 知っている、登録もしている	5
2 知っているが、登録していない	27
3 知らない	41

問3 上記の「問2」で「2 知っているが、登録していない」と回答した方にお伺いします。
「リーダーバンクやまがた」に登録しない理由についてお答えください。
（○はいくつでも可）

1 時間的に派遣依頼に対応できない	18
2 スポーツの指導レベルが派遣依頼に対応できそうにない	1
3 体力的に派遣依頼に対応できない	2
4 登録手続きの方法を知らない、あるいは面倒である	5
5 その他（具体的に書いてください）	
最後に記載	

問4 あなたは過去3年間にスポーツ指導をしていましたか？

1 指導していない	}	〈問5-①へ〉	5
2 指導していたが、現在は指導していない			3
3 現在も指導している 〈問5-②へ〉			69

問5-① 上記問4で、「1 指導していない」または「2 ……現在は指導していない」と回答した方にお伺いします。

スポーツ指導していない理由は何ですか？（○はいくつでも可）

1 指導する意思がない	0
2 指導する対象がいらない	2
3 指導の依頼がない	5
4 指導にあてる時間がない	1
5 その他（具体的に書いてください）	
最後に記載	

問5-② 上記問4で、「3 現在も指導している」と回答した方にお伺いします。

あなたは中学生のスポーツ指導を依頼された場合、引き受けますか。?

1 積極的に引き受けたい	} < 問6-①へ >	15
2 できれば引き受けたい		8
3 条件等によって引き受ける		39
4 引き受けない → < 問6-②へ >		9

問6-① 上記問5-②で、「1 ~ 3」と回答した方にお伺いします。引き受ける場合の条件として、以下の中からあてはまるものを選んでください。(〇はいくつでも可)

1 報酬があること	26
2 実費弁償(交通費等)があること	25
3 無償でもかまわない	15
4 時間帯が都合にあうこと	51
5 土日、休日のみであること	9
6 その他(具体的に書いてください)	
最後に記載	

問6-② 上記問5-②で、「4 引き受けない」と回答した方にお伺いします。

引き受けない理由は何ですか?(〇はいくつでも可)

1 思春期の子ども達を指導するのは不安である(難しい)	0
2 求められる指導のレベルが違うから	0
3 学校(又はクラブ)と指導方針が違う可能性があるから	0
4 自分自身の時間が取れなくなるから	3
5 土日、休日のみであること	1
6 その他(具体的に書いてください)	
最後に記載	

問7 あなたは、スポーツ指導者として、今後どのように活動をしたいですか?

最後に記載

問8 スポーツ施策全般についてご意見やご提案等がありましたら、自由にお書きください。

最後に記載

問6-① 引き受ける条件として

体操

- ・ 現在、近隣の中学校の部活動の選手を高校の部活動と一緒に練習に参加させている。
- ・ 現在、酒田市より委託を受けて地域クラブ整備事業として中学生を指導しています。ただ、スポーツの特性上なかなか生徒が集まらない状況です。体操や新体操を中学校から始めようとする中学生のハードルの高さもあると思います。受け入れについてはいつでも可能です。

スキー

- ・ 都合のつく時間帯または地元地域（市内）の範囲内であれば可能。
- ・ ここでも依頼者の財源任せや、引き受ける側の意識任せになっていることが気になる。報酬や交通費があることは当然であり、重要なこと、その金額を一般常識的な範囲内で、この組織で示すことであると思う。

ソフトテニス

- ・ 勝ち負けにこだわらない環境であること。

水泳

- ・ 活動場所が確保できること。
- ・ 必要とされれば可能。
- ・ 仕事で水泳指導をしているので会社の業務としてなら可能。

アーチェリー

- ・ 無報酬での指導、ボランティア精神に頼るのは教育行政の無責任な姿勢である。低賃金、物価高に生きる若い世代では、指導者になりたくてもなれる状況にない。また、保護者との対応など、監督責任が大きく割に合わない。

ホッケー

- ・ 現在高校の指導者であるため、特別な講習会やかなり時間が空いた時などは引き受ける。
- ・ やりたい気持ちはあるが、現在引き受けている業務の量を考えると負担が大きい。

なぎなた

- ・ 若い指導者の方がよいと思っています。

問6-② 引き受けない理由は何ですか

ハンドボール

- ・ 現在指導している部活動があるため、時間を確保することが困難。

ホッケー

- ・ 現在高校生のコーチをしているため。

ゲートボール

- ・ 1947年北海道の芽室町鈴木栄治さんが子供達の為に考案したのがゲートボール競技で、今では世界各地50ヶ国以上で楽しまれているスポーツである。
- ・ 国内で最初に始めたのが全国老人クラブ連合で高齢者のスポーツのイメージが強い為、若い人達の理解がないのが現実である。若い人達（小・中・高）と社会人等の関係各位のご協力が得られれば活動したい。

問7 あなたは、スポーツ指導者として、今後どのように活動をしたいですか。

剣道

- ・ 剣道の普及については積極的にかかわっていききたいと考えているが、時間的余裕がないのが現状です。
- ・ 少年の指導に関しては、自ら主になって指導するのではなく、これから指導していく若い指導者の補助や保護者との調整役が必要と思われるので、そのように活動していきたい。また、成年女子の指導という立場では、女性がスポーツを続けていくためには、周囲の方々の理解と協力が必要不可欠である。また、出産等でスポーツを一度離れた方々が戻りやすい環境作り、行事を行う際には保育スペースや保育士などの配置など様々な取り組みについて女性の立場で意見を出していきたいと考えている。
- ・ 今、指導に当たっている生徒の競技力向上と人間形成を重視し活動していきたい。
- ・ 高校部活動の他、地域の中学生への指導も希望があれば行いたいと考えている。

ウエイトリフティング

- ・ 現在教員として高校生を中心に指導しているが、定年後も同様にできるか不透明。

バスケットボール

- ・ 無職になれば携わってもよい。個別チームのコーチングより普及活動の方に力を入れていきたい。
- ・ 現在、公務員であるが兼職兼業の承認を受け、部活動の地域移行の受け皿として、地元法人クラブに所属し、報酬を得ながら活動している。今後、さらにU18とU12にも活動の幅を広げていきたい。

体操

- ・ 高校の部活動を中心に指導に携わる。
- ・ 現在行っている高校生の指導を引き続き強化していく。しかし、競技人口が減少し、高校生の選手がとても少ないので、ジュニア世代の普及にも力を入れたい。
- ・ 現在、高等学校の教員として部活動を指導しています。小中学生の所属するジュニアクラブ（当クラブ）も運営し、小学生から高校生まで一緒に活動しています。もっともっと小学生や中学生が活動できるようにしていきたいと思っています。
- ・ 現在高校教員として部活動の指導をしながら小・中学校の指導をしている。今後も同じように続けたい。

ソフトボール

- ・ 地元で貢献できる形で活動したい。

スケート

- ・ 自身も今のコーチの資格に満足せず上級コーチ資格を受講しております。また、他の指導者にもコーチの資格を取るよう進めております。
- ・ 徐々に若手のスポーツ指導者に活動を委譲していきたい。
- ・ 専門競技の指導に拘らず、地域に密着した健康スポーツ（運動）の普及拡大のほか、現在課題となっているジュニア層（特に中学校）の基礎運動能力の向上を図る方法や活動を模索している。

空手道

- ・ 健全育成や社会へ貢献する人材育成に活きる指導を行う。

馬術

- ・ 馬術をもっとメジャースポーツとして普及できるように活動していきたい。
- ・ 指導者としてNOスポハラです。

スキー

- ・ 競技者のための活動だけでなく、趣味としての人も含めての生涯スポーツとしてのそれぞれがたのしめるような活動をしていきたい。
- ・ 競技力向上のための、さまざまな視点から考える力を養い、探求心の醸成を図りたい。
また、スポーツを通して人（年齢性別等幅広い方々）とのコミュニケーション能力向上を図り、「応援したい」と思わせることができる選手を育成をしたい。
- ・ 中学生の地域格差がますます大きくなることが予想される。
- ・ その地域格差に対応できる要因を埋め合わせたい。
- ・ JSPOの指導者としてはプレーヤーズセンターの考えのもと、すべてのスポーツ愛好者にスポーツを好きになつてほしいと考えている。これは、資格のあるなしに関わらず、スポーツ指導者としては当然のことではあるが、資格取得の講習を受けることで、知らなかったことや少しだけ知っていたことをより深く知ることができる。県内ではまだまだ経験則だけで指導して指導者が多い中で、現場でスポーツ指導を行う上では、すべての指導者が資格を取得し、より良いスポーツ指導を行うべきだと考えている。今後私は資格取得の推進を行いより良いスポーツ指導の普及に努めていきたいと考えている。

また、スポーツインテグリティ推進の必要性を強く感じていることから、私の所属するスキー連盟を始め、すべてのスポーツ組織上層部の方も資格を持ち、各競技団体の役員の方々も資格の所持を行った上で組織の舵取りを行ってほしいと考えている、そのためにスポーツ指導と資格の普及に取り組んでいきたい。

ソフトテニス

- ・ 可能な範囲で競技にかかわっていききたい。

水泳

- ・ スポーツを通じて社会に役立つ人材育成をしたい。
- ・ 現在部活動の指導をしているので、そのまま継続していききたい。
- ・ 少しずつ指導から退きたい。
- ・ 民間スポーツクラブでスポーツ指導をしている者として、少子化による水泳人口の激減や、近年の物価高騰がスポーツ活動に与える影響を深く認識しています。具体的には、スポーツ施設の使用料や会費、遠征費などが高くなり、家計への負担が増加し、民営クラブの運営維持費も上がっている状況があります。このような課題に対応するため、地域の支援や助成金等を活用し、低コストで参加できる練習環境の提供を目指しています。また、少人数指導や個別対応を重視することで、質の高いトレーニングを提供し、参加者が充実した経験を得られる場を作りたいと考えています。
- ・ 可能な限り指導者として青少年育成のためのスポーツ指導をお手伝いしていききたい。
- ・ 地域の競技人口を増やしていくために、できる限り協力できるようにしたい。

アーチェリー

- ・ 技術の向上だけでなく、人としても成長できるような指導を心がけたい。また、自分自身も選手とともに成長していききたい。
- ・ 勝敗に関係なく、楽しくスポーツができる環境づくりに貢献したい。

ハンドボール

- ・ スポーツの楽しさを広め、競技向上、普及、発展のために活動していききたい。
- ・ 高校部活動での指導を継続したい。
- ・ 退職と同時に指導から身を引きたいと考えている。
- ・ 身体的・物理的に可能な限り指導を続けていききたい。

陸上競技

- ・小学生や中学生を対象に楽しさを味わわせる程度に指導したい。
- ・現在の活動を充実させていきたい。
- ・自分のできる範囲で、基礎を大事に指導する。
- ・若い世代の指導者も多くなってきたので、できる限り協力して指導法などについて共有したい。また、子どもたちの競技力向上等に寄与していきたい。
- ・自分自身の生きがいとなるだけでなく、公益となるようにしていきたい。
- ・部活動の外部化が進み、「中学校教諭＝運動部活動顧問＝各種競技会の運営役員」がなくなれば、身を引きます。

ホッケー

- ・学校教育におけるスポーツ指導、U-18カテゴリーの代表チームコーチング。
- ・まだ退職していないので、機会があれば（必要とされれば）指導していきます。
- ・メインの指導は任せて、サポートにまわれればと思っている。しかし、指導者資格を持っている人が限られているため、監督を務めなければならなかったり、引率しなければならないという現状である。
- ・技術的、精神的に向上する喜びを感じてもらえる様な活動をしていきたい。
- ・幅広く活動していきたい。

なぎなた

- ・国民スポーツ大会等で上位入賞することも大事ですがなぎなた競技の魅力を多くの方に伝え競技人口を増やし自分自身も健全な体づくりをし日々成長をしていければと思います。
- ・地域でなぎなたをする子供たちになぎなたの楽しさを伝えられるようにしたい。
- ・60代後半で体力的に心配な点はあるが、これまでの経験を生かす事ができれば活動を続けて行きたいと考えております。
- ・部活動の受け皿ができるような活動ができればと思っています。
- ・高校部活動の指導と両立することが難しい現状の為、今後は工夫して中学生のスポーツ指導にも役立つことをしていきたい。
- ・自分の時間も大切にしつつ取り組んでいきたい。
- ・体力に応じてできる範囲で行いたいと思っています。

ローイング

- ・高校の運動部顧問として、部活動の指導に当たりたい。地域スポーツクラブに興味がないわけではないが、上記問6-①の部分に大きな懸念があり、とりくむにしても定年退職後のことと今は考えている。
- ・山形ドリームキッズの発掘、受け入れ、指導を10年ほどしてきて、実績のある子を送り出すことができました。キッズの可能性を引き出し、キッズの将来が花開くように支援していきたいと思います。
- ・特に具体的な目標はありませんが、もし携わるとしたら、まずは安全第一でと考えている。

ライフル

- ・セカンドライフも重要なので、スポーツ指導者としての関わりは徐々にフェードアウトしていく方向で考えている。

アイスホッケー

- ・山形市以外でもアイスホッケー競技の普及を目指すため競技の楽しさを伝えたい。
- ・アイスホッケー競技の普及につながる指導を心掛けたい。
- ・競技経験のある選手を対象に指導をしたいと希望する。
- ・アイスホッケー競技の普及を目指すため競技の楽しさを伝えたい。
- ・指導者資格については継続しない。
- ・ジュニア世代の指導をしているため、アイスホッケーの楽しさや仲間との交流コミュニケーション能力を育てたい。

問8 スポーツ施策全般についてご意見やご提案等がありましたら、自由にお書きください。

剣道

- ・ 近々、中学校の部活動は地域に移行していくことに伴い、日々の指導はもちろんのこと、これまで中体連専門部で行ってきた大会運営、特に事務的な仕事がスポーツ指導者に移行していくものと考えられる。指導者が子どもや生徒とじっくり時間をかけて向き合うためには、懸念される大会運営面を行う人をきちんと確保する必要があると思われる。
- ・ 小中高生のスポーツ活動の際施設使用料を自治体から補助していただきたい。

ウエイトリフティング

- ・ 中学校の部活動地域スポーツ化にかかわる競技人口の変動が不安。

バスケットボール

- ・ スポーツ指導は今後ボランティアでは立ち行かなくなる。しっかりと最低賃金以上の報酬を保障して、指導スキルを持った指導者の育成を図るべき。
- ・ 法人や資格の有無等、部活動の地域移行の受け皿となる団体への補助を充実していただきたい。特に、スタートアップしようとしている団体については、諸経費や備品等、予算がかかる状況から、国や県の補助を活用して、よりスポーツ環境を整備できるように対応いただきたい。

体操

- ・ 体操競技の指導をしているが、専用の体育館がないと、準備や後片付けが、かなり大変。
- ・ 当クラブとして受け入れは可能です。むしろ競技人口を増やしたいと思って活動しています。指導者不足や広報活動にかかる予算もないため、口コミやSNSでの発信のみです。地域クラブとしてもっと知ってもらったりできるよう広報活動にご協力をいただきたいと思います。
- ・ 小中高生のスポーツ活動の際施設使用料を自治体から補助していただきたい。

ソフトボール

- ・ 出来る限り公共施設の使用料を無料にしてほしい。

スケート

- ・ 屋内スケート場が10年も無いのは山形県だけ、出来るだけ早く屋内リンクが欲しい。
- 屋内リンクが出来れば幼稚園から小学生・中学生のスケート教室が相当増加するので指導員の養成が最大の問題になる・・・指導員不足の要因は、平日昼間の指導が主体の為現役の方は無理・・・がネックです。
- ・ 現在、屋内スケート場が無い為、最低月2回は新潟まで練習に行っております。また、陸上トレーニングを定期的(冬期間はスタジオを借りて)に行っております。山形県には、練習環境の整備を早期にお願いしたい。
 - ・ 指導者登録制度について、私はこの制度資格を取得した初期の目的は、国体参加の監督資格に義務付けられたことから取得しました。指導者は常に研鑽が必要との考えから上位資格を学びコーチ3となっているが、現在では若手の育成などもあり専門競技での必要性は無くなっているのが現状です。これまで学んできたことは専門競技に特化したものだけでなく、地域スポーツの普及拡大も目的の一つとされていると理解している。しかし、本制度は専門競技団体に登録しなければ資格の全てが消滅することに疑問を感じる。

馬術

- ・ 色々なスポーツの競技等を県民がもっと実際に見に行ける様工夫・広告・宣伝等。
- ・ いまだに多くのスポハラ・パワハラに悩む選手がいる事、毎日の様に生まれていることを知ってもらいたい。

スキー

・ 部活動廃止や、全中の一部種目の廃止など、これまでのスポーツを支える仕組みが大きく変わろうとしていく中で一個人または地域クラブレベルではこれまでと同様（部活動に置き換わる）スポーツ環境を維持していくことはとても困難な状況である。

また、スポーツを支える指導者のほとんどがボランティアとしての活動であり、現役世代として「家庭」・「仕事」を両立させつつ「スポーツ」に取り組もうとしても簡単ではない現状がある。

・ 「スポーツ」の意義をもう一度見直し、スポーツを「する、みる、ささえる」ことの価値をもっと上げていけるような社会変化が必要な時であると感じる。

・ スポーツインテグリティを推進していきたいと考えている。スポーツにおける様々な透明性や自由にスポーツできる環境をつくるために、スポーツ指導とともに、スポーツインテグリティの向上に尽力していきたいと真摯に考えています。

水泳

・ 指導者の育成も然ることながら、例えば長水路50mの大型室内公認プールがない数少ない県のひとつである等の事例にみられるように、環境面の整備、充実に偏りがあることを改善していただきたい。

アーチェリー

・ 部活動の地域移行について、屋外競技で日が明るいうちに練習しようとする、指導は退職した年配の方々に頼らなければならない。競技によってはそういう指導者も確保できない。これでは競技者が減少していくことになるのではないか。また、日頃は地域スポーツクラブに所属しているのに、中体連の大会となると学校対抗で出場するため、地域移行が完全に進まないように思う。指導者の方々の報酬やクラブの運営について方針が確立されていない競技団体もあるので、都道府県スポーツ協会と連携を提示してもらえるといいと思う。

- ・ アーチェリーに関して言えば、活動環境が貧弱すぎる。東北の中でも厳しい。
- ・ 暑熱対策、雷、荒天時に避難出来る場所もない。

ハンドボール

・ 少子化の現状を踏まえ、どのように競技力強化策を構築していくのか、山形県内各スポーツ競技団体の強化担当者が一同に会した議論の場を是非設けていただきたい。

陸上競技

- ・ 地域のクラブ運営に対する支援を十分に行って頂けることを期待しています。
- ・ 国スポのやり方や在り方を工夫すべきである。
- ・ 少子化が進み、県内でも出生数が400人を切る市が多くあります。各スポーツ協会は存続をかけて人を集めなければならない状況なので、まずは若い指導者の確保が必要と感じています。

ホッケー

・ 中学生の部活動の地域への移行は、人材、場所、財源がそろわないと難しい。中でも財源があれば何とかかなると思われるが、そこがクリアできないうちは、移行が進まないように思われる。地域指導者も仕事を持っているので、残業代無しで教員のように働かせるわけにはいかない。国に強く要求する必要がある。そのマネジメントが大切だと思う。また、べにばな国体から30年以上経ち、そろそろ国体や全国大会の誘致をしその機会に施設のアップデートが必要な競技場が多々ある。

・ 国の方策が地域移行を示しているのなら、もっと基盤をしっかりしていただきたいと思います。自分自身のこともありますが、今後の若い指導者が指導するにあたり様々な保障など、個人に任せられたり、クラブに任せられるのではなく、ましてや単なるボランティアという状況では先行き二極化が進み、スポーツ界全体のレベルもやがて落ちてしまうのではないかという懸念もあります。若手指導者に対しての支援策も構築していく必要があるのではないのでしょうか。

なぎなた

- ・ 勝負はとても大事ですが誰もが笑顔でスポーツを楽しめる環境作りが大事だと思います。
- ・ 1つのスポーツに特化することも良いのですが小さい時から色々なスポーツを経験し身体を動かす楽しさをみつけ人との関わり方を学ぶ事ができれば理想的です。
- ・ 他県におけるような設備の整った武道館を作ってほしい。
- ・ 部活動の地域移行等に合わせて体育施設の充実を期待します。
- ・ なぎなた防具、なぎなたの持ち運びが大変だと思います。専用の練習場所は無理でしょうが用具のおけるところがあればよいと思います。
- ・ 指導の人手不足により一人に対する負担が大きい。なぎなたの競技人口を増やすための手立てを模索して行く必要があると思います。
- ・ 中学生の土日の部活動地域移行事業がどうなっていくのか早く知りたいと思います。

ローイング

・ 学校部活動の地域スポーツクラブへの移行が進められていることについては、現時点では、教員の休日指導に係る人件費の削減策としか感じられない。もっとスポーツ指導に当たることへの経済的魅力が（身分的保障も含めて）欲しい。少なくとも、現状より悪化させることについては断固反対の立場です。仮にクラブ化がすすめられ、その運営が受益者負担的なくみとなった場合、メジャー種目とマイナー種目で大きな格差が発生することは火を見るより明らかです。

ライフル射撃

- ・ 射撃場の施設の維持・管理が困難になってきているので、多目的施設の中で射撃体験・練習・大会が出来るような環境を整えていただきたい。
- ・ 競技継続には施設の建設が必須である。
- ・ 一年中使用できる屋内スケートリンクがほしい。